

いのち

# 生命のメッセージ展

## @ 日本の学校

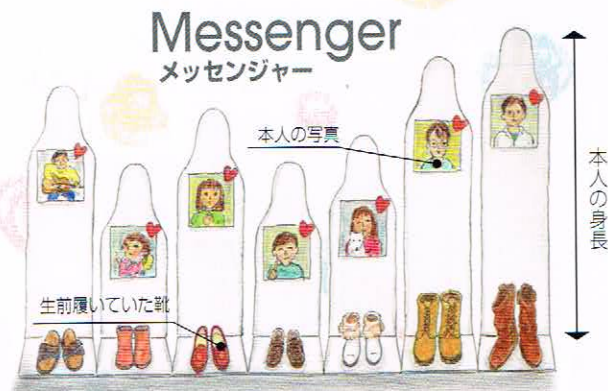


生命のメッセージ展とは？

犯罪・事故・いじめ・医療過誤・無差別殺人・一気飲ませなどによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

犠牲者一人ひとりの等身大の人型は、メッセンジャーと呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証」の靴を置いて、命の大切さを訴えています。

2001年にスタートしたこの展示会は、交通安全・犯罪被害者支援・人権啓発を目的とした各種イベントや、道徳教育、矯正教育プログラムとして全国で活用されています。



生きたくても生きられなかったメッセンジャーへの想いが、加害者も被害者もつらい「命が守られる社会」の実現に繋がることを夢んでいます。



『いのちの授業のすゝめ』

学校、PTA関係の皆様へ

特定非営利活動法人いのちのミュージアムは、生命の大切さを伝える活動を全国で展開しています。その活動の中心にあるのが「生命のメッセージ展」です。

この「生命メッセージ展」には、メッセンジャー全員（160命）を展示する本開催と、少人数（5～30命程度）を展示するミニ開催があります。これまでに120回を越える本開催と200回を越えるミニ開催を実施し、50万人近くの全国の人たちと出会い、命の大切さを伝えて来ました。

特に小・中・高等学校などの教育現場に出張して行なうミニ・生命のメッセージ展では、犯罪被害者遺族の講演を組み合わせ、『いのちの授業』と呼んでいます。児童・生徒たちがこの体験から得た感想を葉に書き綴る「誓いのことば」を集計、分析する成果物は、道徳・人権教育における一つの指標として活用いただけるものと自負しています。

私たちが目指すところは、日本中の子供達が大人になるまでの間の何所かで一度は『いのちの授業』を通じてメッセンジャーと出会い、命の大切さを感じ、考える時間をもってもらうことです。

そうすることで、「自分は加害者にはならない」という意識づけと道徳心の醸成につながり、世の中から、いじめ、自殺、飲酒運転、暴力行為など人の命を危険にさらす行為がなくなり、いのちが守られる社会が築かれると考えているからです。

「いのちの授業」に関する情報は、特定非営利活動法人いのちのミュージアムのホームページにてご確認いただけます。  
<http://www.inochi-museum.or.jp> を是非ご訪問ください。

尚、ご不明な点、ご質問等ございましたら、下記まで遠慮なくお問い合わせをいただけますよう、お願い申し上げます。

『いのちの授業』は平成25年度日本郵便の年賀寄附金の助成を受けて実施しています

特定非営利活動法人いのちのミュージアム  
 〒191-0033  
 東京都日野市百草999 日野市立百草台コミュニティセンター3階  
 電話:042-594-9810 ファックス:042-506-9816  
 E-mail: office@inochi-museum.or.jp URL: <http://www.inochi-museum.or.jp>

つながれ つながれ いのち





## 授業のプログラム

### ① <ミニ・生命のメッセージ展>

空き教室や廊下などのスペースを利用して展示頂きます。児童や生徒と同年代のメッセンジャー30名で構成されるチームを派遣します。

学校では、児童・生徒・教員に、授業の時間を設けていただいたり、休み時間や放課後の時間を利用して、全員にメッセージ展を体験していただきます。



<展示風景>

更に、保護者や近隣の住民の方にも参加いただき、「人権」「道徳」「犯罪被害者支援の啓発」の公開講座としての取り組みを提案しています。

② 生命のメッセージ展を体験していただいた後に、メッセンジャーの遺族による講演を聞いていただきます。飲酒運転などの交通事犯や少年犯罪、殺人事件、いじめによる自殺など、理不尽に突然家族の命を奪われた人の想いを聞く事で、子ども達にいのちの大切さへの気づきと、生きていることの実感、他人を思いやる心や道徳意識の醸成につながります。



<遺族の講演>

## 補助学習教材

いのちのミュージアムの代表理事と生命のメッセージ展の代表を兼務する鈴木共子をモデルに制作された映画「0(ゼロ)からの風」の鑑賞を、補助学習教材として推奨しています。特に、クルマ社会の入口に立つ高校生に鑑賞の機会を提供するために、希望する高校にはDVDを無償でさしあげています。

映画を通じて、生命のメッセージ展の誕生や、危険運転致死傷罪の成立の経緯を知ることができます。

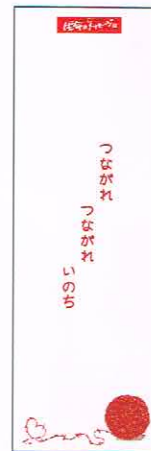
また、映画にはメッセンジャーが実際に出演しています。

## ゼロからの風



## 成果物

### <誓いのしおり>



メッセンジャーと出会って感じたことや誓いのことばを、左のようなデザインのしおりに記入していただきます。

全員のことばを集計して原文のまま記録して、誓いの内容ごとに分類して、成果物として学校に提供いたします。

## 授業の感想や誓いのメッセージ



『ぜったいいじめや自分がされたいやな事はしない。命は一つしかないから。』  
小3

『命の大切さ、重み、尊さが分かり、命を大切に大切にしなければいけないと思った。』  
小6

『「命」というものは、本当に大切だと思いました。「生きてくても生きれない」という言葉がとても心に残り、やっぱり「生きているってすばらしいなあ」と思いました。』  
中3

『命に対して思うことは、「自分の命を大切にしよう」と思っていた。でもそんなのは、いつどこで奪われるかわからない。だからこれからは、「みんなの命を大切にしよう」と思う。』 高3